通信

NO. 165
2026年 10 月号

ビジネス総研株式会社
福岡市博多区博多駅前４丁目
３３番１１－７０２号
☎０９２－９８２－５１７７

今月の作品

余 韻 F4･油彩



心のままに色を重ね、筆の動きに委ねた一枚。時の流れの中で、過ぎ去った日々の記憶が静かによみがえる。

人との出会い、交わした言葉、分かち合った喜び、そして心に残る温もり。何気なく過ごした日々も、振り返れば、かけがえのない時間として心に刻まれている。

人生には、時を経て初めて気づく大切なものがある。

形あるものはいつか消えても、共に過ごした時間の輝きは失われない。その響きは、新たな思いを呼び覚ましながら、いつまでも心の奥に生き続けている。

ボブさんを偲んで

――柿本和人さんとの３０年――



１０月８日夜、ビジネス総研の企画部長、柿本和人さんが５９歳で逝去された。私たちは親しみを込めて「ボブさん」と呼んでいた。

ボブさんとは、約３０年間、仕事を共にした。

特に自治体職員採用試験の支援事業では、福岡、長崎、佐賀、大分など各県で、面接官研修の講師、個別・集団面接や集団討論の質問者・評価者を務め、作文試験やグループワークの課題作成にも携わり、優れた人材の確保に力を尽くした。

私は、自分が長年担ってきた仕事を彼に引き継いでもらおうと準備を進めていた。彼もその思いを受け止めてくれていたと思う。

そんな私に「まだ、まだ、やれます」と励ましながら、若い世代の感覚や時代の変化に即した提案を重ね、実現に向けて動いてくれた。

福岡市中央区の「舩津制作」とも深く関わり、近年は、優れた専門知識をフルに発揮し、プログラムミングやWeb、パソコン関連の仕事にも力を注いでいた。

私がＡＩを仕事に活用するための指示書を作ってくれたのも彼で、今も「佐藤君」と呼ぶＡＩにその工夫が生きている。

音楽もこよなく愛した。ギター、ドラム、ピアノ、エレクトーンを演奏し、ライブハウス「金太郎ギター」ではマスターや音楽仲間と深く結ばれ、周年行事にも力を尽くした。

仕事の行き帰り、新鳥栖駅や道の駅糸田でピアノを弾く姿を、私は何度も見ている。

仕事にも音楽にも、人とのつながりを大切にしたボブさん。魚釣りやイカ釣りに出かけ、ご家族とも一緒に過ごしたことがあった。

３０年間、仕事を共にし、遊び、語り合ってきた。

まだ一緒にやりたい仕事があった。話したいことも、たくさんあった。そのボブさんが、突然いなくなった。

ボブさん、３０年間、本当にありがとう。

君が言ってくれた「まだ、まだ、やれます」という言葉を胸に、私も、もう少し頑張ってみようと思う。

心からご冥福をお祈りします。

ビジネス総研　　大隈 信夫

あとがき

ビジネス総研の業務に長年携わってきた柿本和人さんが急逝された。皆さんから期待された才能あふれる方でした。今月号は、追悼号としました。心からご冥福をお祈りします。

Relationship & Partnership ビジネス総研
https://www.b-souken.com